

川崎病後冠動脈瘤の退縮病変における長期血管構造異常の研究

研究協力をお願い

この研究は、日本医科大学付属病院中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2000 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に、日本医科大学付属病院小児科で診療を受けた川崎病後冠動脈障害を有する患者さんのうち、急性期冠動脈瘤の退縮が確認され、川崎病発症から 5 年以上経過した遠隔期画像評価が実施されている患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は、川崎病後冠動脈瘤の退縮病変に対して、川崎病発症から 5 年以上経過した遠隔期における冠動脈の形態変化を解析し、急性期冠動脈瘤の大きさと退縮後狭窄出現との関連を明らかにすることです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院で実施する研究で、研究責任者および研究事務局は小児科渡邊誠です。

2000 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に、日本医科大学付属病院小児科で診療を受けた川崎病後冠動脈障害を有する患者さんのうち、急性期冠動脈瘤の退縮が確認され、川崎病発症から 5 年以上経過した遠隔期画像評価が実施されている患者さんの既存の診療録および画像検査所見を用いて、川崎病発症から 5 年以上経過した遠隔期における冠動脈の変化を解析し、急性期冠動脈瘤の大きさと退縮後狭窄との関連について検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2027 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：性別、川崎病発症年齢、既往歴、急性期治療内容、冠動脈瘤部位、冠動脈最大内径、瘤分類、退縮確認時期、冠動脈造影所見、冠動脈 CT 所見、IVUS 所見、OCT 所見、狭窄の有無、石灰化の有無、内膜肥厚、三層構造破壊等の血管壁所見

利用を開始する予定日：実施許可日

試料・情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。情報は施錠

作成日 : 2026 年 5 月 8 日

可能な小児科医局内に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。患者さんの個人情報、個人が特定できる形で使用されることはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 小児科 渡邊 誠

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号 : 03-3822-2131 (代表) 内線 : 24617

メールアドレス : s7103@nms.ac.jp